

三原市民と市長の「みらいトーク」(第30回) 実施結果

- 1 日 時 令和5年11月24日(金曜日) 18時00分から19時30分
- 2 場 所 三原市役所 8階 会議室801
- 3 テーマ 三原市ふるさと納税について
- 4 参加者 ふるさと納税返礼品事業者(7名)、岡田市長
- 5 内 容 各項目について市長が質問し、参加者から対話形式で意見を聴取。

1 ふるさと納税のPRについて

【参加者から】

- ・返礼品を送るときに、寄附者へのお礼の気持ちも込めて、三原をアピールするようなリーフレットを同封したいが、市で作成してはどうか。
- ・ふるさと納税をPRするポスター、リーフレットを店舗に掲示したり、市外・県外へ訪問する際や、市外からの訪問者に配布してはどうか。
※市が名刺サイズのPRカードや、ポスター、リーフレットを作成していることを伝え、みらいトーク終了後、希望者へ配布した。
- ・市外・県外の友人や親せきに配布するのもよいのではないか。
- ・市職員が名刺を渡す際にQRコードつきのものにしてはどうか。
- ・移住促進に取り組む部署と連携してPRするのもよいのではないか。例えば、移住のPR動画を見ながら返礼品を召し上がってくださいと案内するのはどうか。
- ・年末に向けて、これからふるさと納税の機運が高まる時期なので自社でもPRをしていきたい。
- ・自社のSNSは、Instagramのプロフィール欄にURLを貼ることができる。リンク先として市公式HPのふるさと納税ページに繋げたいが、そのページを魅力的なものにしてほしい。

2 事業者間での返礼品開発について

【参加者から】

- ・事業者同士で定期便の返礼品を開発してはどうか。別ジャンルとの組み合わせにも挑戦してみたい。例えば、3か月定期便で、3か月目に返礼品を発送するのであれば、時間に余裕があるので発送までの準備に時間が必要な事業者でも参加できる。
- ・八天堂のくりむパンはいろいろコラボレーションができる。原料を供給いただければ、数量を絞って、ふるさと納税限定などとして、返礼品ができると思う。
- ・お水とコーヒー豆のセットや、お水とお米のセット、お米と卵と醤油で卵かけご飯セットなど関連のものをセットで返礼品にしてはどうか。

3 サービス提供型・体験型の返礼品について

【参加者から】

- ・遠方の家族が寄附し、三原市在住者(高齢者世帯)の見守りサービスを受けられる返礼品があればいいと思う。
- ・あるいは、市外の親が三原市在住の子育て世帯に家事代行を派遣するサービスもいいのではないか。

- ・お墓の掃除などを代行してくれるサービスであれば寄附しやすいと思う。
- ・モノを送るだけの返礼品ではなく、市内飲食店で利用できるチケットに三原の観光などの体験ができるチケットをセットにして返礼品にする。その際には、観光パンフレットなども同封したらいい。
- ・レンタルのキャンピングカーで海沿いをドライブするパターンとか、山間部に行くパターンなどに、飲食をセットにした返礼品ができたらいいい。

4 市長から

- ・ご提案いただいた、ふるさと納税のPRについては、ぜひ事業者の皆さんにご協力をお願いしたい。
- ・PRカード、リーフレット、ポスターは、市で作成しているので、早急にここにおられない事業者の方々にも配布させていただく。(出席者のうち、希望者には当日PRカード等をお渡しした。)
- ・PR用の画像データも各事業者にお送りするので、SNS等での配信にご利用いただきたい。同時多発的に発信していければ良い。
- ・三原市ふるさと納税の各ポータルサイトに誘導する魅力的な専用サイト開設の検討や、現在の市公式HPのふるさと納税ページの改良など、人を惹きつける工夫は引き続き取り組んでいく。
- ・サービス提供型返礼品については、今後研究・検討を進める。
- ・セットやコラボレーションの返礼品開発については市の検討だけでなく、ぜひ皆さんからも提案をいただきたい。
- ・今後もふるさと納税を盛り上げてくため、ご協力をよろしく申し上げます。